



◆ 巻 頭 言

自然災害に思うこと

4月の半ばに九州の熊本で、大きな地震が起きました、4月14日にまず震度7の大地震が起きてその対応に追われていた二日後にまた震度7の地震が起きました。

気象庁は14日のは前震で16日が本震だったと修正しました。

震源が浅く、活断層の交差した地点が震源だということからか、その後も余震が多発している状態。国、県、市町村も対応が後手後手になり、避難所の混乱が多々報道されているように見られます。考えればあそこは阿蘇の火山灰地だからとか、活断層があったからとか、尤もらしい言い方はたくさんあると思うが、自然に対する人知の無力さだけが目立つ。

日本はどこも活断層の上であり、いつ地震が起きてもよい中で日常を過ごしているわけですし、地震はいつも対岸の火事ではないと言う、日常の危機管理が大事ということなのでしょう。

と言いながら、今私たちは、地震に対する対処方法を常に考えて、準備しているだろうか。本気になって必要備品を備蓄して、いつ来るかわからないでも必ずやってくる地震に、慌てず対応できるよう準備しよう。

追記

避難所で不自由な生活をしている人たちが、食事に野菜がなく苦労しているときみそ汁の具にと子供が道端のミツバやヨモギを摘んできて食事に彩を添えたという。自然がもたらした災害に苦しめられることと自然に助けられることの不思議なとりあわせ、自然は凄い。

山上東平

◇平成28年5月の活動予定

※活動可否の判断の件で。

原則、小雨決行です。作業中止の場合は、必ず、緊急連絡網（am7時頃）連絡を致します。4月24日は7時の時点では小雨だったので活動を行うとの判断をしましたが、集合時間頃に雨脚が強くなり、皆様を混乱させる結果となりました。対処策を5月の活動で打合せをする事にします。

① 5月8日（日）9時半～13時半 ・集合場所 公田竹林西駐車場

◇身近な環境活動（公田竹林の保全作業）

- ・作業内容：親筍を残し、不要筍の整理（蹴っ飛ばし）を行う。
- ・持ち物：竹挽きノコ、ナタ、お弁当、飲料水、その他必需品

※ビニール袋（買い物袋）を必ず持参して下さい。

【持参器具】作業旗、シート、救急箱

◇寄合（議案）

・6月18日、19日『栄村研修会』の研修内容の検討。

※栄村研修会への出欠は5月20日までに山上部会長に連絡をする事

・緊急連絡網の運用方法と「こじゅけい通信」のパウチ化の件等

② 5月22日（日）9時半～14時半 ・集合場所 池の下広場

◇作業目的：景観保全型落葉樹林と管理型スギ林を目指した保全作業。

・作業地：いっしんどう作業エリア

・作業内容：(港南台側)ネザサ・アオキ・シロダモの除伐・間伐作業と

進入孟宗竹の駆除作業。

：(天園側)外来種（セイカアワガチソウ・ブクサ）の駆除作業。

・持ち物 常備具（カマ・手ノコ・ナタ）、お弁当、飲料水、他必需品

【持参器具】作業旗、シート、救急箱、刈払機、ロープ

【記事】除伐材の処理の仕方



除伐材は、なるべく細かくし
幹部分（玉切り）と枝葉に分けて
整理して下さい。

両方を混ぜこぜにすると空洞が
増え、土に接する部分が少なく
なり、腐るのに時間がかかります

(28年6月号の原稿に関し、上記活動報告は三島清和氏、巻頭言は小嶋紀之氏
リレートークは星野純明氏です。原稿の締め切りは28年5月25日(水)、伊藤氏迄宜しくお願い
いたします。)

欠席される方は、メール(TOKAMI6666@aol.com)又は電話(894-2800)で山上部会長迄。

【瀬上さとやまもりの会 活動日誌】

4月9日(土)瀬上さとやまもりの会第4回会員総会

参加者:山上、上手、佐谷、丸山、小宅、吉川、三島、星野、柳下、
前村、高嶋、押木、伊藤(樹林地から15名程参加していたと思います)

①環境創造局による『瀬上池集水域の保管理計画』について説明
とお願い。

②樹林地部会上手氏を議長に第4回総会が行われました。

(定数48名:出席者28名、委任状17名で総会成立)

備品購入のチェーンソーだが半額は補助で(20万の品)、

その他特段の疑義も無く総会終了

③ 懇親会となる。



柵囲いされた瀬上池



総会風景



懇親会風景

4月24日(日)(小雨)

作業予定の9時前後も雨が続き危ぶまれたが、
8:56着の山上会長からの中止連絡が入り作業は中止とした。

参加者:渡邊富、三島、佐谷、高嶋、伊藤

取りあえず雨の中渡邊氏がバインダーで草刈りをしてくださいました。

物置周辺と、簡易トイレ付近。(草丈は30cmを超えてました。(記録伊藤)



雨の中バインダーにて 草刈り実行

◆ リレートーク

久し振りのウオーク

長谷川記

三月始め、一年半ぶりに団体での歩きに参加した。付いていけるか心配だったが、スケッチ・ハイクとの事なので休憩が多く取れると皮算用。雲は多いが降る空ではない、東逗子駅から歩き始め神武寺表参道の石畳を上りきると歴史を感じさせる古刹の立派な鐘樓の屋根が見えてきて、スケッチタイム

絵を描かない私は古い建造物や植物を見ながら散策。一時間後凝灰岩の続く尾根道へ。展望を楽しむ余裕もなく両手にしっかりストックを握り必死で足元を見ながら進む。やがて石材を切り出した跡地「鷹取山」に到着。

きついけれど展望台に上ってみる、東京湾、うっすらと房総半島三浦半島、箱根の山々船舶も望むことができた。

垂直に切れ落ちた岩のあちらこちらにクライマーの姿、大昔何回もここに通ったことを思い出す。昼食と

スケッチのあと磨崖仏へ。

この石仏は個人が彫った「弥勒菩薩」とのこと、皆さん石仏と向き合い一生懸命、良く描けるなーと見学。分岐に戻り、尾根道をくだり住宅街に出て京急田浦駅へ。乗り物のシートに腰を落としたら、疲れがドット出た。迷惑かけず歩きとうせたことにホッとしました。

◆ 編集後記

いっしんどう広場掲示板へ、活動紹介、市民の森憲章、前号こじゅけい通信129号を掲示してきました。

おおしまざくらはすっかり葉桜模様。いっしんどう広場から見晴るかす富士山、街並み、私たちが次世代に継承することを望んでいる緑の固まりを目前にして、連続する熊本、大分の地震の被害状況を思い、一刻もはやい終息、復興を祈りました。(小宅そのえ)

